

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ブルースカイジュニア浦和教室		公表日	令和 8年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 整備管 ・体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	10		タイマーや感覚刺激を入れるための支援グッズの購入をした上で、訪問支援時に学校に貸し出しをしています。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		基準人員を満たしています。 特別に支援に配慮が必要なお子様に対しては2名体制で訪問支援に伺っています。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	2		支援状況の共有などは日々行っていますが、週7日営業が故に常に全職員が顔を合わせる機会が少ないので、共有方法に留意が必要です。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		毎年評価表のアンケートを実施しています。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		日々職員間ではコミュニケーションを取り、意見交換をしやすい職場環境であると認識しています。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3		第三者からの外部評価は行っておりませんが、弊社が運営する他事業所とは月に1回の会議を行い、情報共有や事例検討を行っています。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		市町村で行われている研修に、毎月1名以上は参加をしています。	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	10			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	10		新年度になり新しい担任の先生とは、電話もしくは対面にて挨拶を行い、支援内容の共通理解を図っています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		訪問支援に伺う前には、全員が支援計画書を確認をしています。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1		訪問支援事業の他にも放課後等デイサービス事業も行っていますので、そこで児童の様子を把握しています。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	10			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		前回担当した訪問員からの聞き取りをした上で、訪問支援に伺っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		訪問支援報告書を作成することで状況を確認し合い、次の支援に活かしています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	10			学校の先生方の意向についても聞き取りを行い、私たちの思いばかりが先行しないように常に気を付けています。常に多角的に児童のことを見ながら、より良い支援が提供できるように努力を続けてまいります。

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	10		訪問支援報告書は必ず作成し、保護者と学校に提出をしています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		参加の機会をいただいた際には、参加をしています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			児童に関わる他の事業所や学校の先生とは、いつでも連携を取れるように体制を整えています。また、ケース会議などにも積極的に参加をしています。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	9		小学生を対象としていますので、まだそのケースは出会っていません。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	10			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	9	1	全職員に参加の機会がないのですが、事業所の代表者を参加させています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2	保護者会を開催しています。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	10		年度初めにパンフレットなどを持参してご説明の機会をいただいています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	10			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	10			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	10		多機能事業所として運営している放課後等デイサービスの支援の中で、きょうだいに参加できるイベントを開催しています。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		毎月の通信の発行に加えて、LINEを使った情報発信を行っています。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		訪問支援の中で、口頭のみ言葉掛けではなく、視覚的に伝える対応をしています。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	10			

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	9	1	訪問支援終了時に担任の先生と振り返りをさせていただきますが、授業の合間の時間のみなのでじっくりとしたお話を伺えないことがあります。その分、訪問支援報告書にて詳細をお伝えするように心がけています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	10			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	9	1	先生方のお困りごとに対して、放課後等デイサービスでの支援につなげることで困り感を減らせるように支援しています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	4		事業所内に用意しておりますが、保護者が気軽に手に取れる場所に掲示をするようにします。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	2	事業所の代表者が年に一回の県主催の研修に参加しています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10			